

会議名	令和6年度山城南地域医療構想調整会議 (山城南地域保健医療協議会)
開催日時	令和7年1月23日(木)
場所	相楽会館大ホール
出席者	別添出席者名簿のとおり

## ○ 報告事項

### 1 病床機能報告について

事務局から説明(資料1)

令和4年度病床機能報告から山城南圏域の3病院の状況、近隣の山城北圏域の病院の状況を報告。

### 2 救急搬送の状況について

事務局から説明(資料2)

令和5年及び4年の搬送件数や搬送先の地域等について報告。

### 3 ARI(急性呼吸器感染症)サーベイランスについて

事務局から説明(資料3)

この春から国が新たに定義づける「急性呼吸器感染症(ARI)」について、その症例の定義や目的、方向性の「進捗」について説明。今後は、府全体の調整後、相楽医師会及び定点医療機関の皆様への説明を行いながら準備を進める。

### 4 新たな地域医療構想に関する国の検討状況について

医療課課から説明(資料4)

高齢者人口が一番多いと予想されている2040年に向けて、外来・在宅、介護との連携、人材確保等も含めたあるべき医療提供体制の実現に向けて新たな構想を策定・推進する。新たに精神医療を位置づける。

### 5 かかりつけ医機能報告制度について

(1) 医療課課から説明(資料5)

令和7年4月に施行される報告制度について説明。秋頃に定期報告依頼する見込み。

(2) 質疑応答

かかりつけ医機能報告制度について、報告結果は公表されるのか。(相楽医師会)

→4月1日から法律が施行されることにより公表される。年度末までに国からガイドラインが配布される見込み。(医療課)

## 6 地域医療提供体制データ分析チーム構築支援事業について

### (1) 分析チームから説明(資料6)

データ分析から見た山城南圏域の特徴と課題について説明。患者在住地域と入院先医療機関所在地における地域自給率は低い。医療需要の将来推計、医師・看護師数の将来推計等における課題を説明。

### (2) 質疑応答

- 医師の年齢構成は幅広いというが実感はあるか。

→勤務医が含まれているからかと思うが、開業医も最近では40代くらいの者も増えてきている。バランスがいいというのがデータでも証明されて有難い。(相楽医師会)

- 看護師の雇用についてデータでは安定的な推移が予想されるとのことであったが、実際には看護師の確保に苦労されていると聞いているが、いかがか。

→新入職の方が減ってきており、募集の仕方を検討。30～40代の方向けに多様な勤務体制を検討。(山城総合医療センター)

- 肺がんの診療について遺伝子検査数が少ないとのことであるが、いかがか。

→早期で来られる方が少なく、進行してからの受診になる。呼吸器内科の医師は非常勤で1名、呼吸器外科は常勤で1名いるが症例が少ない。(山城総合医療センター)

## 7 京都式地域包括ケアの推進について～2040年を見据えて～

### (1) 高齢者支援課から説明(資料7)

外来・在宅、介護連携等も含めた新たな医療構想における地域包括ケアを説明。

### (2) 主な発言

- 分析チーム

緩和ケアの担い手を地域でどう考えていくのが、今後のテーマ。

- 精華国保病院

医師の年齢層は高めであるが、体に気を付けながら慢性期病院として頑張っている。看護師も子育て世代には特に配慮しながら働いているところ。医療従事者でいうと薬剤師が少なくて大変苦しい状況。

→薬剤師不足の問題には、府としても対応していく予定(医療課)

- 学研都市病院

基幹病院の医師の配分が少なく、今ですら地域内で医療需要をまかなえていない状況で今後高齢化が進んでいったときにどうなるのか。医師の配分の調整は話し合われているのか。

→新たな地域医療構想を整えていく中で、皆様の意見を聞きながらまとめていきたい。(医療課)

## ○ 協議事項

### 外来医療における紹介受診重点医療機関の現況確認及び公表について

医療課課から説明(資料8)

すでに公表されている京都山城総合医療センターの現況確認により、要件を満たしていることを説明。引き続きお願いする。